

エコプラント本格稼働 資源の再生から販売、処理

総合建設業などを主な事業とする株式会社アロウズでは、今年4月よりエコプラント事業部を開設。近年、関心が高まっている資源リサイクルのニーズに応えるため、これまで

培ってきた基盤を活かした2つの産業廃棄物処理施設を立ち上げた。資源の再生、販売、処理事業に取り組む、持続可能な社会の実現に寄与することを目的としている。



株式会社 アロウズ
代表取締役
新井 達夫

るため、騒音対策として一次粉砕機を地下に設置している。

もう一つの施設は太陽光パネルリサイクル施設。利用年数を超えた太陽光パネルの受け入れが可能であり、認可を受けた専門処理施設として適切な処理を行うことができる。

処理能力は0.6t/h。口量5t未満。パネルのアルミ枠を分離した後、コンベアでガラス剥離機に送られる。ガラスを剥離し、バックシートを回収、その後ガラスを回収する。アルミ枠（金属くず）、シート（廃プラスチック類）、ガラス（微粉、カレット）は原

新事業への挑戦 発展へ鎗矢を放つ

太陽光の処理需要に対応

産業廃棄物処理施設のうち一つは、コンクリート・アスファルト廃材リサイクルプラント。建設・土木工事の現場で発生する産業廃棄物を受け入

れ、再生資材にする。受け入れ処理品目は建設・土木がれき類、コンクリート塊、アスファルトコンクリート塊、ガラスくず、金属くずなどが対象となる。処理能力は688t/日。受け入れ時、トラックスケールで車両ごと重

量の計測を行うことが可能。圧縮式破砕機により、廃材を破砕する。最終工程では、砂、RB40-0、RC40-0、RC30-0、4種類の販売資材に振り分ける。大きなコンクリート塊などを粉砕する第1工程では、破砕音も大きな



持続可能な社会の実現のために

近年関心が高まる資源リサイクルのニーズに応えるべく、土木工事業で培ってきた基盤を活かして2つの産業廃棄物処理施設を立ち上げました。持続可能な社会の実現に寄与する資源の再生・販売、処理事業に取り組んでいます。

コンクリート・アスファルト廃材リサイクルプラント

建設・土木工事の現場で使用された資材を受け入れ、再生資材にするための中間処理施設です。

太陽光パネルリサイクル設備

耐用年数を超えた太陽光パネルの受け入れが可能です。ARROWSは認可を受けた専門処理施設として適切な処理を行います。

受注にも繋がれば」と期待を込める。太陽光パネルの処理施設については「今後必ず需要が出てくる。茨城県内での太陽光パネルの設置面積は多いので、専門処理施設としての役割を担っていきたい」と語った。同社は1967年に、建設資材販売業として操業。以来50年以上、地域貢献やSDGsの取り組みなど、社会インフラを支える企業として社会的責任を果たすべく、変化と前進を続けている。

